

経営者育成・大学生交流の場としてのコミュニティカフェの立ち上げと運営 ～仕組み化による店舗運営の持続可能性検証～

団体名●村上専門ゼミナール3年／代表者名●村上統朗（経済学部経営学科・教授）

はじめに(背景・目的・目標)

本プロジェクトは、金沢市が抱える「将来を担う経営者人材の不足」と「若者の地元離れ」という課題解決を目的としています。株式会社エー・オー・シー様(石川県金沢市)との連携により、学生が企画・開業・運営を一貫して担う「実践の場」を創出することを目標としました。単なる飲食の提供にとどまらず、金沢在住の学生をターゲットとした「挑戦・発信・実践」の拠点(インキュベーション拠点)を目指しています。

活動内容

「学生が主役のカフェ en.(エン)」の立ち上げに向け、以下のプロセスで活動を行いました。

コンセプトの策定と開業準備：2025年9月中旬のオープンに向け、事業コンセプトの立案から運営フローの構築までを学生主体で実施しました。

多角的な交流の設計：「学生×企業(キャリア形成)」「学生×学生(大学間交流)」「学生×地域(ワークショップ等)」という3つの軸で、スペースの活用方法を企画しました。

プロモーション活動：SNSを通じた情報発信を行い、カフェを活用して活動したい学生や団体の募集を開始しました。



成果、結果の考察

活動を通じて、座学で学んだ経営学の理論を実際の「ゼロイチ(創業)」の現場に応用する貴重な経験を得ることができました。

特に、多様なステークホルダー(企業・地域住民・他大学の学生)との交流を設計する過程で、多角的な視点やコミュニケーション能力の必要性を痛感しました。学生自身が「運営者」として責任を持つことで、理論上の数値や計画が実社会ではいかに変動するかを学び、将来の経営者に直結する実践的な思考力が養われたと考察します。



今後の課題、展望

今後は、オープンした「en.」を安定的に運営しながら、集客と活用の質を高めていくことが課題です。

サークル同士のコラボレーションや学生作品の展示など、多様な「やってみたかったこと」を実現できる場として定着させたいと考えています。この活動を継続することで、金沢への学生密着を高め、地域活性化やUターン・定住意識の向上に貢献する成功モデルの構築を目指します。